



東京部会(第33回)	
日時:	2010年10月19日(火)19:00-21:15
場所:	日本大学経済学部3号館(図書館)4階会議室
参加者:	篠原(同志社大)、浅田(日大)、加藤(日大)、土井(日大院)、新井(都立小石川中等教育)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、升野(大妻中高)、山崎(筑波大院、北海道豊富高)、鈴木(経済教育センター)、榊原(東証)、石山(東証)、中沖(清水書院)、神尾(第一学習社)、宮尾(筑波大)[順不同]
<p>【内容要旨】</p> <p>1. 篠原先生より、今後の予定について報告があった。 ワークショップ(11/13 福井、1/11 福岡、2/9 札幌、1/25 宮崎) 年次大会 12/4(土)13時~17時 (於:同志社大学)</p> <p>2. 議題1 新しい教科書の記述を改善してもらうよう経済教育ネットワーク名で教科書出版社に提言(要望)を出す。 項目は以下の通り。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 国際経済・自由貿易に関する記述(多国籍企業の企業間貿易の拡大やF.リストの保護貿易論の記述の是非など)</p> <p>② <input type="checkbox"/> 株式会社の本質的な部分を丁寧に記述してもらう。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 独占の記述: 占有率の高さと公取委の話が同時に書かれており、読者が混同する。</p> <p>議題2 検定外教科書の作成: プロジェクトとして進める方向で一致(1月頃に素案作成)。教員養成講座向けの経済のテキスト作成の是非も話し合われる</p> <p>3. 新井先生より、入試プロジェクトの進捗状況の説明があった。 メンバーの追加、今年の傾向の紹介、書籍の紹介、他団体との連携</p> <p>4. 宮尾先生よりコマナー先生の講演会のまとめとその後のディスカッションの内容報告</p> <p>① 経済教育におけるモデルの使用と経済の仕組みをモデルで理解することの重要性(科学的分析の基礎)</p> <p>② 教室での実験の重要性、そして実験結果が想定と違った場合に、なぜ違ったかの説明が大切。</p> <p>③ 具体的な数値例などを使って教えれば生徒の理解が深まること。</p> <p>大学ではモデルを使って政策的議論をするため、高校までに基礎を教えることが必要ではないか。</p> <p style="text-align: right;">(文責:加藤一誠)</p>	
<p>次回開催予定: 11月30日(火)19:00~21:00、日大経済学部3号館4階会議室</p> <p>主な議題は以下の通り。</p> <p>1. 実験経済学のデモ</p> <p>2. 入試プロジェクトの中間報告(2)</p>	